

圃場の病害虫をスマホで診断

農研機構など30機関で構成される「病害虫AI診断コンソーシアム」に参画し、農林水産省の戦略的プロジェクト研究推進事業「人工知能未来農業創造プロジェクト」において、AIを活用した病害虫診断技術の開発に取り組みました。

本県は、トマトに発生する病害虫を対象に精度の高い画像を大量に収集するとともに、試作されたAIの精度検証を行いました。

スマートフォンのアプリで病害虫診断

本プロジェクトの成果は、参画機関の日本農薬（株）の提供するアプリ「レイミーのAI病害虫雑草診断」のAIに反映され、当面は無料で利用できます。



病害虫の被害画像が無料で利用可能

AIの学習に使用されたトマト、キュウリ、ナス、イチゴの病害虫画像は無償で公開され、ダウンロードして資料等への利用が可能です。

<https://www.naro.affrc.go.jp/org/niaes/damage/#!index.md>



公開画像の一例

（研究成果）

- ・ トマト、ナス、キュウリ、イチゴの病害虫（45種類）を高精度に識別可能なAIを開発しました。圃場でスマホ撮影することにより迅速に診断できます。
- ・ 本プロジェクトで収集したトマト、キュウリ、ナス、イチゴの病害虫画像は無償で公開され、画像をダウンロードして資料等への利用が可能です。

本研究は、農林水産省委託プロジェクト研究「AIを活用した病害虫診断技術の開発」JP17935051 および官民 研究開発投資拡大プログラム（PRISM）予算の補助を受けて行いました。